

輸送連結の意義

国連アジア太平洋経済社会委員会 (ESCAP) 交通部長

李玉偉

輸送というのは、ヒトとモノをある地点から別の地点に移動させる手段である。そして、それは交易や交流、旅行に不可欠なものである。また、経済・社会の発展を支える柱でもある。国々を結ぶ輸送が行われなければ、各国は互いに孤立し、大量生産を行ったり、現代的な農業や工業のための物流を実現したりすることはできない。輸送なしの国際貿易はあり得ない。

本報告では、輸送の役割及び地域輸送連結性に着目する。北東アジアにとっての輸送連結性の重要性を強調する事実を示す。北東アジアは、世界の陸地の 20% を占め、世界人口の 23% を擁する。北東アジアの 4 カ国は、世界で上位の貿易国であり、主要な国際旅行先であり、輸送サービスの主要な提供国である。北東アジアは、世界の GDP の 22% を占める。世界第 2 位、第 3 位の経済大国が北東アジアにある。この局地圏の域内貿易比率は、アジア太平洋地域の中で最も高い。さらに、北東アジアには天然資源及び生産のバランス関係がある。これらの事実すべてが、有効な輸送連結の必要性を強く示している。地域の輸送連結性を強化することで、さらなる経済成長と交易拡大が実現されるだろう。また、各国間の協力が促進され、地域の人々の交流が円滑化されるだろう。輸送連結性を強化することによって、大規模なインフラ投資の機会が多くもたらされ、経済成長を刺激するだろう。

本報告では、北東アジアの国々が輸送連結性の向上において多大な成果を上げたことを述べる。そのうえで、世界銀行による全世界を対象とした評価に基づき、北東アジア諸国においてさらなる輸送インフラ改善が必要であることを示す。同時に、本報告では、越境手続きやロジスティクスサービスといった制度上の連結性を改善する必要についても強調する。最後に、北東アジア諸国がこの局地圏の輸送連結性を強化するためには、陸上の輸送インフラ網、インターモーダル輸送接続及び輸送に関連した電子サービスに関する取り組みを強化することを提案する。

[ERINA にて翻訳]